

大学番号：私603

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

天理医療大学

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人天理よろづ相談所学園  
平成25年5月1日現在

作成担当者

天理医療大学事務局

職名・氏名 事務局長 ウエノ ハルヒコ  
上野 治彦

電話番号 0743-63-7811

(夜間) 0743-63-7811

F A X 0743-63-6211

e-mail inf@tenriyoro-zu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・	1～4
2	授業科目の概要	・・・・・・・・	5～13
3	施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・	14
4	既設大学等の状況	・・・・・・・・	15
5	教員組織の状況	・・・・・・・・	16～33
6	留意事項に対する履行状況等	・・・・・・・・	34～35
7	その他全般的事項	・・・・・・・・	36～39
添付資料	7－(2)①「委員会の設置状況」関係規程	・・・・・・・・	40～41

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人天理よろづ相談所学園

## (2) 大学名

天理医療大学

## (3) 大学の位置

〒632-0018

奈良県天理市別所町80番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	オクムラ ヒデヒロ 奥村 秀弘 (平成23年10月26日)		
学長	ヨシダ オサム 吉田 修 (平成24年4月1日)		
学部長	イナモト タカシ 稲本 俊 (平成24年4月1日)		
学科長等	ヤギ フミコ 屋宜 譜美子 (平成24年4月1日)		
	マツオ シュウジ 松尾 収二 (平成24年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
医療学部 看護学科 学士(看護学)	4年	70人	0人	280人	
臨床検査学科 学士(臨床検査学)	4	30	0	120	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	100 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	100 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	1.03倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	292 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	188 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	262 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	172 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	107 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	110 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	105 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	100 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A					1.05		1.00			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	105	-	100	-	
2年次	/		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	-	-	104	-	
3年次			/		/		[ - ] -	[ - ] -	-	-	-
4年次	/						/		/		[ - ] -
計			[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -					105

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	— 人	— 人	平成22年度	— 人	— 人		— %
			平成23年度	— 人	— 人		
			平成24年度	— 人	— 人		
			平成25年度	— 人	— 人		
平成23年度 入学者	— 人	— 人	平成23年度	— 人	— 人		— %
			平成24年度	— 人	— 人		
			平成25年度	— 人	— 人		
平成24年度 入学者	105 人	1 人	平成24年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情	0.0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	100 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	205 人	1 人					0.0 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<医療学部 看護学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
総合基礎科目	人間と社会 (いのちの尊厳、人間の理解を深める)	生命と科学	1前	1								兼 5		
		宗教と科学	2前	1								兼 1		
		発生・分化・再生	1後		1			1				兼 1		
		生物学・遺伝学	1前		1							兼 1		
		化学	1前		1							兼 1		
		物理学	1後		1							兼 1		
		こころと身体	身体論Ⅰ(身体の人類学)	2後	1								兼 1	
		身体論Ⅱ(身体の生理学)	2後		1								兼 3	
		心理学	2前		1			0					兼 3	平成25年3月教授1名退職、兼任講師として担当。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)
		臨床心理学	2後		1			0					兼 2	平成25年3月教授1名退職、兼任講師として担当。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)
	発達とライフサイクル	1後		1			0					兼 1	平成25年3月教授1名退職。科目は兼任教員が担当する。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)	
	生活と社会	環境とくらし	1前		1							兼 1	平成24年4月 兼任講師変更(25)	
		文化とくらし	1後	1								兼 1	平成25年4月 兼任講師2名から1名に変更(25)	
		政治経済とくらし	4前		1							兼 3		
		法律とくらし	2後		1							兼 3		
	芸術とコミュニケーション	生命と芸術実践演習Ⅰ(複合身体表現A)	1-2-3-4前		1							兼 2		
		生命と芸術実践演習Ⅱ(複合身体表現B)	1-2-3-4後		1							兼 2	平成25年4月 講師都合により担当科目を変更。(25)	
		生命と芸術実践演習Ⅲ(演劇表現A)	1-2-3-4後		1							兼 2	平成25年4月 講師都合により担当科目を変更。(25)	
		生命と芸術実践演習Ⅳ(演劇表現B)	1-2-3-4後		1							兼 2		
		生命と芸術実践演習Ⅴ(身体表現A)	1-2-3-4後		1							兼 2		
		生命と芸術実践演習Ⅵ(身体表現B)	1-2-3-4後		1							兼 2		
		生命と芸術実践演習Ⅶ(複合コミュニケーション表現A)	1-2-3-4後		1							兼 2		
		生命と芸術実践演習Ⅷ(複合コミュニケーション表現B)	1-2-3-4後		1							兼 2	平成25年4月 講師都合により、兼任講師変更(25)	
	言語と国際性	英語Ⅰ Reading, Writing	1前	1								兼 6	平成25年4月 少人数クラスでの教育充実のため新規兼任講師の追加。(25)	
		英語Ⅱ 英会話	1後		1							兼 5		
		英語Ⅲ 医療英語	2後		1			2				兼 2	教育充実のため教員追加(25)	
	協働的医療実践の基礎	外国語学研修	2-3-4前		1			1		1		兼 2	担当 吉田 いつこ 平成24年9月 教員審査済 判定 可	
人間関係とコミュニケーション		1前	1			3	1	6	4		兼 5	平成25年3月教授1名退職、科目は他の選任教員で分担する。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25) 教育充実のため教員追加(25) 担当 吉田 いつこ 平成24年9月 教員審査済		
相互扶助論Ⅰ(共同的活動演習)		2前	1			1		1	1		兼 3			
相互扶助論Ⅱ(援助・支援関係形成演習)	3前		1			1	2	1		兼 3	教育充実のため教員追加(25) 担当 吉田 いつこ 平成24年9月 教員審査済 判定 可			

総合基礎科目	協働的医療実践の基礎	フレッシュマン・セミナー	1前	1			11	2 3				兼 9	平成25年3月准教授1名退職。科目は他の選任教員で分担する。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25) 就任辞退教授の後任採用 (25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済
		医療の歴史と現在	1前		1							兼 1	平成25年3月教授1名、准教授1名退職。科目は他の選任教員で分担する。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25) 就任辞退教授の後任採用 (25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可
		医療における科学的思考	1後	1			1					兼 2	
		保健統計学	1後	1								兼 9	
医療安全学Ⅰ(概論)	1後	1			1					兼 9			
医療実践基礎実習	1前	1			9 10	2 3				兼 9			
情報科学演習Ⅰ(基礎)	1前	1								兼 1			
情報科学演習Ⅱ(応用)	1後		1							兼 1			
共通専門基礎科目	体のしくみと医療	医療概論	1前	1			1					兼 1	平成25年3月教授1名、准教授1名退職。科目は他の選任教員で分担する。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25) 就任辞退教授の後任採用 (25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可
		生化学	1後	1								兼 2	
		生化学実験	1後		1							兼 2	
		栄養学	2前	1								兼 1	
		臨床栄養学	2後	1								兼 1	
		薬理学Ⅰ(総論)	1後	1								兼 1	
		薬理学Ⅱ(各論)	2前	2								兼 1	
		感染とその防御	1前	1								兼 2	
		体のしくみと疾病の成り立ちⅠ(病態生理・骨格・神経・感覚)	1前	2			1					兼 3	
		体のしくみと疾病の成り立ちⅡ(呼吸・循環)	1後	2			1					兼 2	
		体のしくみと疾病の成り立ちⅢ(消化・栄養)	1後	2			1					兼 1	
		体のしくみと疾病の成り立ちⅣ(腎尿路・内分泌)	2前	2								兼 3	
		体のしくみと疾病の成り立ちⅤ(免疫・感染)	2前	2			1					兼 2	
		体のしくみと疾病の成り立ちⅥ(生育・血液・代謝)	2後	2								兼 3	
協働的医療実践の展開	関係法規	2前	1								兼 1		
	保健医療福祉行政論	2後	1								兼 1		
	衛生管理学	3後		2							兼 3		
	社会福祉原論	3前	1								兼 3		
	障がい論	3後	2								兼 1		
	医療安全学Ⅱ(実践論)	4後		1		1					兼 6		
総合臨床演習	4後		1		4			1		兼 6			
看護専門科目	共通基盤看護学	共通基盤看護学概論Ⅰ(看護の概念の探究)	1前	2			1				2	就任辞退教授の後任採用 (25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可	
		共通基盤看護学概論Ⅱ(発達段階の特徴と看護)	1後	2			2				1		
		実践基礎論Ⅰ(活動することを支える看護方法)	1前	2			2				2		
		実践基礎論Ⅱ(生きていくしくみを支える看護方法)	1後	2				1	1	1	2		兼 1
		実践基礎論Ⅲ(フィジカルアセスメント)	2前	2			1	1	1		2		
実践基礎看護学実習(生活を整える看護)	1後	1			4	1	3	1	10	就任辞退教授の後任採用 (25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇任のため教員追加 (25) 担当 松井 利江(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可			

共通基盤看護学	共通基盤看護学実習Ⅰ (看護過程と看護診断)	2前	1			1	1	1	1	4	助手から昇任のため教員追加 (25) 〔担当 松井 利江(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕	
	共通基盤看護学実践論Ⅰ (健康回復過程を支える看護)	2前	2			1	1			2		兼 2 助手から昇任のため教員追加 (25) 〔担当 松井 利江(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕 就任辞退教授の後任採用(25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	共通基盤看護学実践論Ⅱ (セルフケアを支える看護)	2後	2			1		1	1	1		
	共通基盤看護学実践論Ⅲ (急性期療養過程を支える看護)	3前	2			1		2		2		
	共通基盤看護学実習Ⅱ (健康回復過程を支える看護)	2後	2			1	1	2	1	8	助手から昇任のため教員追加 (25) 〔担当 松井 利江(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕 助手から昇任のため教員追加 (25) 〔担当 松井 利江(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕 就任辞退教授の後任採用(25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可 助手から昇任のため教員追加 (25) 〔担当 松井 利江(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕	
	共通基盤看護学実習Ⅲ (セルフケアを支える看護)	3前	2			1		3	1	8		
	共通基盤看護学実習Ⅳ (急性期療養過程を支える看護)	3後	2			1		3	1	4		
	看護専門科目	臨床応用看護学	老年看護学概論	2前	1			1				兼 1
			老年看護学実践論Ⅰ (高齢者の健康)	2後	1			1		1		
老年看護学実践論Ⅱ (高齢者の生活を支える看護)			3前	1			1		1			
老年看護学実践論Ⅲ (特徴的疾患と看護)			3後	1			1		1			
老年看護学実習Ⅰ (生活の場の変化と健康)			4通	2			1		1		1	
老年看護学実習Ⅱ (健康レベルの変化に応じた看護)			4通	2			1		1		1	
母性看護学概論			2前	1			1		1			
母性看護学実践論Ⅰ (女性のライフサイクルと健康)			2後	1			1					
母性看護学実践論Ⅱ (周産期の看護)			3前	2			1		1		1	
母性看護学実習			4通	2			1		1		1	
小児看護学概論		2後	1			0 +					兼 1	
小児看護学実践論Ⅰ (健康な子どもの発達と看護)		3前	1			0 +				1	平成25年3月准教授1名退職、後 任未定(25) 平成25年3月准教授1名退職、後 任未定(25) 平成25年3月准教授1名退職、後 任未定(25) 平成25年3月教授1名退職、後任 未定(25) 平成25年3月教授1名退職、後任 未定(25)	
小児看護学実践論Ⅱ (治療過程にある子どもと看護)		3前	1			+			1	1		
小児看護学実践論Ⅲ (子どもの特徴的疾患と看護)		3後	1			+				1		
小児看護学実習Ⅰ (健康な小児の発育と看護)		3後	1			+			1	1		
小児看護学実習Ⅱ (治療過程にある小児と看護)		4通	2			+			1	1	兼 1 平成25年3月教授1名退職、後任 未定(25) 平成25年3月教授1名退職、後任 未定(25)	
精神看護学概論		2後	1			1						
精神看護学実践論Ⅰ (こころの健康を支える)		3前	1			1			2			
精神看護学実践論Ⅱ (生活の場における看護)		3前	1			1			2	1		
精神看護学実践論Ⅲ (治療過程での看護)		3後	1			2			2	1		
精神看護学実習Ⅰ (地域の支援と看護)	3後	1			1			2	1			
精神看護学実習Ⅱ (医療施設における看護)	4通	1			1			2	1			

広域発展看護学	広域発展看護学概論	2前	1			1	1	1			兼 1	
	広域発展看護学実践論Ⅰ (地域に生きる人々と看護連携)	2後	1			1	1	1			兼 1	
	広域発展看護学実践論Ⅱ (地域連携と社会システム)	3前	1			1	1				兼 1	
	広域発展看護学実践論Ⅲ (在宅療養を支える看護)	3後	1			1		1		1		
	広域発展看護学実習Ⅰ (療養生活と看護の実際)	3後	1			1	1	2 +		1	教育充実のため教員追加 (25) 担当 吉田 いつこ 平成24年9月 教員審査済 判定 可	
	広域発展看護学実習Ⅱ (在宅療養を支える看護の実際)	4通	1			1	1	2 +		1	教育充実のため教員追加 (25) 担当 吉田 いつこ 平成24年9月 教員審査済 判定 可	
	災害看護論	4前	1					2 +		兼 1	教育充実のため教員追加 (25) 担当 吉田 いつこ 平成24年9月 教員審査済 判定 可	
	国際看護論	4前	1					1		兼 1	教育充実のため教員追加 (25) 担当 吉田 いつこ 平成24年9月 教員審査済 判定 可	
	看護生涯学習論	4前	1			1	1					
	がん看護論	4前		1						2 +	兼 2	助手から昇任のため教員追加 (25) 担当 松井 利江 (助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可
看護専門科目	パブリックヘルスクエア論	4前		1			1				兼 1	
	ウィメンズヘルスクエア論	4前		1		1	0 +	1			兼 1	平成25年3月准教授1名退職。後任募集中 (25)
	健康支援方法論	4後		1		1		1			兼 1	就任辞退教授の後任採用 (25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	クリティカルケア論	4後		1		1		1			兼 1	就任辞退教授の後任採用 (25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	メンタルヘルスクエア論	4後		1		1			2		兼 1	助手から昇任のため教員追加 (25) 担当 松井 利江 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	緩和ケア論	4後		1					2 +		兼 1	助手から昇任のため教員追加 (25) 担当 松井 利江 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	看護研究方法論	3後	1			1						
	看護研究演習Ⅰ	4前	1			8 9	2 3					平成25年3月教授1名、准教授1名退職。後任募集中 (25) 就任辞退教授の後任採用 (25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	看護研究演習Ⅱ	4後	1			8 9	2 3					平成25年3月教授1名、准教授1名退職。後任募集中 (25) 就任辞退教授の後任採用 (25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	看護実践能力の探究	4後	1			2	1	4 3	1	10	就任辞退教授の後任採用 (25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可 教育充実のため教員追加 (25) 担当 吉田 いつこ 平成24年9月 教員審査済 判定 可 助手から昇任のため教員追加 (25) 担当 松井 利江 平成25年1月 教員審査済 判定 可	
看護管理論	4前	1					1	1		兼 2		

看護専門科目	広域発展看護学	総合実習	4後	2			7 8	2 3	7 6	4 3	10	平成25年3月教授1名、准教授1名 退職。後任募集中(25) 就任辞退教授の後任採用(25) 担当 林 みよ子 平成25年1月 教員審査済 判定 可 教育充実のため教員追加(25) 担当 吉田 いつこ 平成24年9月 教員審査済 判定 可 助手から昇任のため教員追加 (25) 担当 松井 利江 平成25年1月 教員審査済 判定 可

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
82	35	0	117	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注)
- ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

<医療学部 臨床検査学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手			
総合基礎科目	人間と社会 (いのちの尊厳、人間の理解を深める)	生命と科学	1前	1								兼 5	<p>兼 1 平成25年3月教授1名退職、兼任講師として担当。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)</p> <p>兼 2 平成25年3月教授1名退職、兼任講師として担当。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)</p> <p>兼 1 平成25年3月教授1名退職。科目は兼任教員が担当する。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)</p>	
		宗教と科学	2前	1								兼 1		
		発生・分化・再生	1後		1			2						兼 1
		生物学・遺伝学	1前		1									兼 1
		化学	1前		1									兼 1
		物理学	1後		1									兼 1
		身体論Ⅰ(身体の人類学)	2後	1										兼 1
		身体論Ⅱ(身体の生理学)	2後		1									兼 3
			2前	1										兼 3
		心理学												
	臨床心理学	2後			1							兼 2		
	発達とライフサイクル	1後			1							兼 1		
	生活と社会	環境とくらし	1前		1								兼 1 平成24年4月 兼任講師変更(25)	
		文化とくらし	1後	1									兼 1 平成25年4月 兼任講師2名から1名に変更(25)	
		政治経済とくらし	4前	1									兼 3	
		法律とくらし	2後		1								兼 2	
		家族社会学	2後		1								兼 1	
		芸術とコミュニケーション	生命と芸術実践演習Ⅰ(複合身体表現A)	1・2・3・4前		1								兼 2
	生命と芸術実践演習Ⅱ(複合身体表現B)		1・2・3・4後		1								兼 2 平成25年4月 講師都合により担当科目を変更。(25)	
	生命と芸術実践演習Ⅲ(演劇表現A)		1・2・3・4後		1								兼 2 平成25年4月 講師都合により担当科目を変更。(25)	
	生命と芸術実践演習Ⅳ(演劇表現B)		1・2・3・4後		1								兼 2	
	生命と芸術実践演習Ⅴ(身体表現A)		1・2・3・4後		1								兼 2	
	生命と芸術実践演習Ⅵ(身体表現B)		1・2・3・4後		1								兼 2	
	生命と芸術実践演習Ⅶ(複合コミュニケーション表現A)		1・2・3・4後		1								兼 2	
	生命と芸術実践演習Ⅷ(複合コミュニケーション表現B)		1・2・3・4後		1								兼 2 平成25年4月 講師都合により、兼任講師変更(25)	
	言語と国際性	英語Ⅰ Reading, Writing	1前	1									兼 6	
		英語Ⅱ 英会話	1後		1								兼 5	
英語Ⅲ 医療英語		2後		1								兼 2		
外国語学研修		2・3・4前		1			1					兼 4		
協働的医療実践の基礎	人間関係とコミュニケーション	1前	1				4	1			2	兼 14		
	相互扶助論Ⅰ(共同的活動演習)	2前	1				1					兼 5		
	相互扶助論Ⅱ(援助・支援関係形成演習)	3前		1			1					兼 6		
	フレッシュマン・セミナー	1前	1				6	3				兼 12		
	医療の歴史と現在	1前	1				1					兼 1		
	医療における科学的思考	1後	1									兼 1		
	保健統計学	1後		1			2					兼 1		
	医療安全学Ⅰ(概論)	1後	1									兼 1		
	医療実践基礎実習	1前	1				6	3				兼 11		
	情報科学演習Ⅰ(基礎)	1前	1				1							
	情報科学演習Ⅱ(応用)	1後	1				1							

共通専門基礎科目	体のしくみと医療	医療概論	1前	1			1				兼	1		
		生化学	1後	1			1							
		生化学実験	1後	1			1	1						
		栄養学	2前	1					1			兼	1	
		臨床栄養学	2後		1							兼	1	
		薬理学Ⅰ(総論)	1後	1								兼	1	
		薬理学Ⅱ(各論)	2前		2							兼	1	
		感染とその防御	1前	1			1	1						
		体のしくみと疾病の成り立ちⅠ (病態生理・骨格・神経・感覚)	1前	2									兼	4
		体のしくみと疾病の成り立ちⅡ (呼吸・循環)	1後	2									兼	3
		体のしくみと疾病の成り立ちⅢ (消化・栄養)	1後	2									兼	2
		体のしくみと疾病の成り立ちⅣ (腎尿路・内分泌)	2前	2			2						兼	1
		体のしくみと疾病の成り立ちⅤ (免疫・感染)	2前	2			1						兼	2
		体のしくみと疾病の成り立ちⅥ (生育・血液・代謝)	2後	2			1						兼	2
協働的医療実践の展開	関係法規	2前		1							兼	1		
	保健医療福祉行政論	2後		1							兼	1		
	衛生管理学	3後	2			2					兼	1		
	社会福祉原論	3前		1							兼	3		
	障がい論	3後		2							兼	1		
	医療安全学Ⅱ(実践論)	4後	1								兼	1		
	総合臨床演習	4後	1			3	3			2	兼	5		
臨床検査専門科目	臨床検査ガイダンス	臨床検査学序説	1前	1			2							
		臨床検査基礎実習Ⅰ (器具・試薬・鏡検)	1前	1			1	1		1	2			
		臨床検査基礎実習Ⅱ (秤量・泳動・鏡検)	1前	1			1	1	1		2			
病理床	臨床病理学総論	4通	2			2								
	臨床病理学演習Ⅰ(実例解説)	4後	1			2	1							
臨床検査専門科目	形態検査学	病理学Ⅰ(総論)	2後	1				1				兼	1	
		病理学Ⅱ(各論)	3前	1				1				兼	1	
		病理組織検査学	2前	1				1				兼	1	
		病理組織検査学実習Ⅰ(標本作成)	2後	1				1			1	兼	1	
		病理組織検査学実習Ⅱ(鏡検)	3前	1				1			1	兼	1	
		細胞診学	3後	1				1			1	兼	1	
		血液検査学	1通	2				1				兼	1	
		血液検査学実習	2前	1				1			1	兼	1	
	形態検査学特論	4後		1			2							
	生物化学分析検査学	臨床化学検査学総論	1後	1			1		1			兼	1	
		臨床化学検査学各論	2通	2			1		1					
		臨床化学検査学実習	2後	1			1		1		1			
		生体構造代謝学	1後	1			1		1					
		環境検査学実習	3後	1			1		1		1	兼	1	
尿一般検査学		1前	1			1								
尿一般検査学実習		1後	1			1				2				
放射性同位元素検査学	3前	1								兼	1			
分子生物学	2後	1				1			1					
分子生物学実習	3前	1				1			1	1				
生物化学分析検査学特論	4後		1				1		1					
病因・生体防御検査学	微生物検査学総論	1後	1				1							
	微生物検査学各論	2通	2				1							
	微生物検査学実習	3前	2				1			2				
	医動物検査学	1前	1				1	1			兼	1		
	免疫検査学	2前	1				1		1					
	免疫検査学実習	2後	1				1		1	1				
	輸血・移植検査学	3前	1				1							
	輸血・移植検査学実習	3前	1				1		1	1				
病因・生体防御検査学特論	4後		1			1								
生体機能検査学	生体機能検査学総論	1後	2			1		1			兼	1		
	生体機能検査学各論Ⅰ(呼吸)	2前	1			1		1			兼	1		
	生体機能検査学各論Ⅱ(循環)	2前	1			1					兼	1		
	生体機能検査学各論Ⅲ(神経)	2前	1			1					兼	1		
	生体機能検査学各論Ⅳ(画像)	2前	2			1					兼	2		
	生体機能検査学実習	2後	2			1		1		2	兼	2		
	生体機能検査学特論	4後		1				1			兼	2		

臨床検査専門科目	検査総合管理学 臨地実習・ セミナー	検査管理学総論	4前	1			1							兼	2
		検査管理学演習	4後		1		1							兼	2
		検査精度保証学	3前	1			1							兼	1
		検査情報システム学	3後	1										兼	2
		検査機器学	3前	1										兼	1
		医用基礎工学	4前	1										兼	1
		医用生体工学	4後	1										兼	3
		医用工学実習	4後	1						1				兼	2
		検査管理学特論	4後		1		1							兼	2
		臨地実習	3後	10			3	3	2	1					
		卒業研究	4前	7			4	3	2	1					
		臨床研究論セミナー	4前		1		1	1	1						
		臨床検査体験実習	4後		2		3	3	2	1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
77	37	0	114	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	※校地敷地の減少は、 文部科学省の指導により、 校地内にある別法人 管理の学生寮の敷地 を除外したため (25)			
	校舎敷地	4019.43 6588.88 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	4019.43 6588.88 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	4794.45 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	4794.45 m <sup>2</sup>				
	小 計	8813.88 11383.33 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	8813.88 11383.33 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	2569.45 — m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	2569.45 — m <sup>2</sup>				
	合 計	11383.33 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	11383.33 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		12,141.05 m <sup>2</sup> (12,141.05m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	12,141.05 m <sup>2</sup> (12,141.05m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	10 室	18 室	13 室	0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医療学部			40 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	電子ジャーナルは契約 の準備を進めており、 文献検索ソフトCHINAL with FULL TEXTを導入 したことにより、外国 誌3,000誌が閲覧可能 (25)  図書・雑誌・視聴覚資 料は、教員・学生の希 望を優先して購入した ため増加 (25)  外国書は、電子書籍e- braryの導入により 7,000冊が閲覧可能 (25)	
	医療学部	30,978[997] (32,911[284]) -(30,045[198]) (30,978[997])	119[29] (98[2]) -( 97[2]) ( 119[29])	29[29] (0[0]) (29[29])	626 (862) (626)	2100 (1,386) (896) ( 2100 )	63 ( 63 )		
	計	30,978[997] (32,911[284]) -(30,045[198]) (30,978[997])	119[29] (98[2]) -( 97[2]) ( 119[29])	29[29] (0[0]) (29[29])	626 (862) (626)	2100 (1,386) (896) ( 2100 )	63 ( 63 )		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		機 械 ・ 器 具 は 年 度 計 画 で の 整 備 (25)		
	617.20 m <sup>2</sup>		73 席		36,800 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	693.10 m <sup>2</sup>		該 当 な し						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書、設備購入費は3 年計画での整備に変更 (24)  教員研究費、共同研究 費は、寄附行為認可申 請の修正が反映されて いなかったため変更 (24)
		教員1人当り研究費等	340千円 437千円	321千円 457千円	図書購入費	5,927千円 15,080千円	8,000千円 1,500千円	6,000千円	
	共 同 研 究 費 等	16,900千円 42,000千円	21,600千円 45,600千円	設備購入費	135,440千円 188,269千円	34,300千円	0千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,790千円	1,490千円	1,490千円	1,490千円	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	天理医療大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過 率	開 設 年 度	所 在 地	
医療学部 看護学科	年	人	年次 人	人	学士 (看護 学)	倍	平成24 年	奈良県天理市別 所町80番地の1	
臨床検査学科	4	70	0	280	1.03				
	4	30	0	120	学士 (臨床 検査 学)	1.00	平成24 年		
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過 率	開 設 年 度	所 在 地	
該当なし	年	人	年次 人	人		倍			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)	稲本 俊(65)	平成24年4月	発生・分化・再生 ※ 英語Ⅲ医療英語 相互扶助論Ⅰ(共同的活動演習) 相互扶助論Ⅱ(援助・支援関係形成演習) フレッシュマン・セミナー 医療における科学的思考 医療実践基礎実習 体のしくみと疾病の成り立ちⅠ(病態整理・骨格・神経・感覚)※ 体のしくみと疾病の成り立ちⅤ(免疫・感染)※ 医療概論 ※ 医療安全学Ⅰ(概論) 医療安全学Ⅱ(実践論) 総合臨床演習						
専	教授(学部長)	屋宜 譜美子(59)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習 共通基盤看護学概論Ⅰ(看護の概念の探究) 実践基礎論Ⅰ(活動することを支える看護方法) ※ 実践基礎看護学実習(生活を整える看護) 看護生涯学習論※ 総合実習						
専	教授	有田 清子(50)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 実践基礎論Ⅰ(活動することを支える看護方法) ※ 共通基盤看護学実践論Ⅰ(健康回復過程を支える看護) ※ 実践基礎看護学実習(生活を整える看護) 共通基盤看護学実習Ⅱ(健康回復過程を支える看護) 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 看護実践能力の探究 総合実習						
兼任	講師	岩本 淳子(55)	平成24年4月	共通基盤看護学概論Ⅱ(発達段階の特徴と看護) ※	兼任	講師	岩本 淳子(56)	平成24年4月	共通基盤看護学概論Ⅱ(発達段階の特徴と看護)	平成24年3月 自己都合により着任辞退のため、同一科目担当兼任講師がオムニバス回数を含め単独担当となった。(24) 平成25年4月 より専任教員となり専任部分は削除する。また、平成24年度に増加したオムニバス回数分は、新規採用となった専任教員(林みよ子)が担当することで、申請時の担当回数を担当することとなった。(25)
専	教授	岩本 淳子(55)	平成25年4月	共通基盤看護学概論Ⅱ(発達段階の特徴と看護) ※ フレッシュマン・セミナー 共通基盤看護学実践論Ⅱ(セルフケアを支える看護) ※ 共通基盤看護学実習Ⅲ(セルフケアを支える看護) 広域発展看護学概論 ※ 広域発展看護学実践論Ⅰ(地域に生きる人々と看護連携) ※ 広域発展看護学実践論Ⅱ(地域連携と社会システム) ※ 広域発展看護学実践論Ⅲ(在宅療養を支える看護) ※ 広域発展看護学実習Ⅰ(療養生活と看護の実際) 広域発展看護学実習Ⅱ(在宅療養を支える看護の実際)						オムニバス科目担当教員布谷麻耶が平成25年5月より産休。平成26年3月まで育児休暇取得予定。オムニバス回数の増加について7月教員審査申請予定。(25)

専	教授	岩本 淳子 (55)	平成25年4月	健康支援方法論 ※ 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 総合実習						
専	教授	奥村 和夫 (62)	平成24年4月	外国語学研修 フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習 精神看護学実践論Ⅲ（治療過程での看護）※ 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ						
専	教授	大見 サキエ (59)	平成24年4月	心理学 ※ 臨床心理学 ※ 発達とライフサイクル※ 人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習	兼任	講師	大見 サキエ (60)	平成25年4月	心理学 ※ 臨床心理学 ※	平成25年3月退職、兼任講師として 担当。平成26年4月までに当該科 目を担当できる適格者を募集す る。(25)
				小児看護学概論			後任未定			平成25年3月退職 科目担当の専任教員で分担 平成25年3月退職、平成26年4月ま でに当該科目を担当できる適格者 を募集する。(25)
				小児看護学実践論Ⅰ（健康な子ども の発達と看護） 小児看護学実践論Ⅱ（治療過程にあ る子どもと看護） ※ 小児看護学実践論Ⅲ（子どもの特徴 的疾患と看護） ※ 小児看護学実習Ⅰ（健康な小児の発 育と看護） 小児看護学実習Ⅱ（治療過程にある 小児と看護） 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 総合実習	兼任	講師	大見 サキエ (60)	平成25年4月	小児看護学概論	平成25年3月退職、兼任講師として 担当。平成26年4月までに当該 科目を担当できる適格者を募集す る。(25)
							後任未定		平成25年3月退職、平成26年4月ま でに当該科目を担当できる適格者 を募集する。(25)	
専	教授	中木 高夫 (64)	平成24年4月	英語Ⅲ医療英語 人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 体のしくみと疾病の成り立ちⅡ（呼 吸・循環） ※ 体のしくみと疾病の成り立ちⅢ（消 化・栄養） ※ 総合臨床演習 実践基礎論Ⅲ（フィジカルアセスメ ント）※ 実践基礎看護学実習（生活を整える 看護） 共通基盤看護学実習Ⅰ（看護過程と 看護診断） 看護研究方法論 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ						
専	教授	末安 民生 (58)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 精神看護学概論 精神看護学実践論Ⅰ（こころの健康 を支える）※ 精神看護学実践論Ⅱ（生活の場にお ける看護）※ 精神看護学実践論Ⅲ（治療過程での 看護）※ 精神看護学実習Ⅰ（地域の支援と看 護） 精神看護学実習Ⅱ（医療施設におけ る看護） メンタルヘルスケア論 ※ 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 総合実習						
専	教授	灘 久代 (58)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 母性看護学概論 ※ 母性看護学実践論Ⅰ（女性のライフ サイクルと健康）※ 母性看護学実践論Ⅱ（周産期の看護）※ 母性看護学実習 ウイメンズヘルスケア論 ※ 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 総合実習						

専	教授	茂野 香おる (53)	平成25年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 老年看護学概論 ※ 老年看護学実践論Ⅰ（高齢者の健康）※ 老年看護学実践論Ⅱ（高齢者の生活を支える看護）※ 老年看護学実践論Ⅲ（特徴的疾患と看護）※ 老年看護学実習Ⅰ（生活の場の変化と健康） 老年看護学実習Ⅱ（健康レベルの変化に応じた看護） 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 総合実習						
兼任	講師	赤澤 千春 (52)	平成24年4月	医療実践基礎実習 共通基盤看護学概論Ⅱ（発達段階の特徴と看護）※ 実践基礎看護学実習（生活を整える看護）					医療実践基礎実習は、他に担当教員がいるため支障はない。(24) 平成24年3月 自己都合により着任辞退のため、同一科目担当兼任講師がオムニバス回数を含め単独担当となった。(24) 医療実践基礎実習は、他に担当教員がいるため支障はない。(24)	
専	教授	赤澤 千春 (53)	平成25年4月	医療実践基礎実習 共通基盤看護学概論Ⅱ（発達段階の特徴と看護）※ 実践基礎看護学実習（生活を整える看護） フレッシュマン・セミナー 共通基盤看護学実践論Ⅲ（急性期療養過程を支える看護）※ 共通基盤看護学実習Ⅳ（急性期療養過程を支える看護） クリティカルケア論 ※ 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 看護実践能力の探究 総合実習	専	教授	林 みよ子 (49)	平成25年4月	医療実践基礎実習 共通基盤看護学概論Ⅱ（発達段階の特徴と看護）※ 実践基礎看護学実習（生活を整える看護） フレッシュマン・セミナー 共通基盤看護学実践論Ⅲ（急性期療養過程を支える看護）※ 共通基盤看護学実習Ⅳ（急性期療養過程を支える看護） クリティカルケア論 ※ 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 看護実践能力の探究 総合実習	平成24年3月赤澤千春教授就任辞退のため、平成24年4月より教員新規採用 平成25年1月 AC教員審査済 (25)
専	准教授	尾ノ井 美由紀 (54)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 広域発展看護学概論 ※ 広域発展看護学実践論Ⅰ（地域に生きる人々と看護連携）※ 広域発展看護学実践論Ⅱ（地域連携と社会システム）※ 広域発展看護学実習Ⅰ（療養生活と看護の実際） 広域発展看護学実習Ⅱ（在宅療養を支える看護の実際） パブリックヘルスクエア論 ※ 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 看護管理論 ※ 総合実習						
専	准教授	室津 史子 (52)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 母性看護学実践論Ⅰ（女性のライフサイクルと健康）※ 母性看護学実践論Ⅱ（周産期の看護）※ 母性看護学実習 ウィメンズヘルスクエア論 ※ 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 総合実習			後任未定			平成25年3月退職。科目担当の専任教員で分担。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)
	兼任				兼任	講師	室津史子 (53)	平成25年10月	母性看護学実践論Ⅱ（周産期の看護）※	平成25年3月退職、兼任講師として担当。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)
							後任未定			平成25年3月退職。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)

専	准教授	西山 ゆかり (48)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習  実践基礎論Ⅱ（生きていくしくみを 支える看護方法）※  実践基礎論Ⅲ（フィジカルアセス メント）※ 共通基盤看護学実践論Ⅰ（健康回復 過程を支える看護）※ 実践基礎看護学実習（生活を整える 看護） 共通基盤看護学実習Ⅰ（看護過程と 看護診断） 共通基盤看護学実習Ⅱ（健康回復過 程を支える看護） 看護生涯学習論 ※ 看護研究演習Ⅰ 看護研究演習Ⅱ 看護実践能力の探究 総合実習							オムニバス科目担当教員布谷麻耶 が平成25年5月より産休。平成26 年3月まで育児休暇取得予定。オ ムニバス回数増加について7月 教員審査申請予定。(25)
専	講師	川口 ちづる (42)	平成24年4月	相互扶助論Ⅰ（共同的活動演習） 相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習） 広域発展看護学概論 ※ 広域発展看護学実践論Ⅰ（地域に生 きる人々と看護連携）※ 広域発展看護学実践論Ⅲ（在宅療養 を支える看護）※ 広域発展看護学実習Ⅰ（療養生活と 看護の実際） 広域発展看護学実習Ⅱ（在宅療養を 支える看護の実際） 総合実習							
専	講師	寺口 佐與子 (44)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション 共通基盤看護学実践論Ⅲ（急性期療 養過程を支える看護）※ 実践基礎看護学実習（生活を整える看護）※ 共通基盤看護学実習Ⅱ（健康回復過 程を支える看護）※ 共通基盤看護学実習Ⅲ（セルフケア を支える看護） 共通基盤看護学実習Ⅳ（急性期療養 過程を支える看護） クリティカルケア論 ※ 看護実践能力の探究 総合実習							
専	講師	有田 秀子 (45)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション 老年看護学実践論Ⅰ（高齢者の健 康）※ 老年看護学実践論Ⅱ（高齢者の生活 を支える看護）※ 老年看護学実践論Ⅲ（特徴的疾患と 看護）※ 老年看護学実習Ⅰ（生活の場の変化 と健康） 老年看護学実習Ⅱ（健康レベルの変 化に応じた看護） 総合実習							
専	講師	永田 明 (39)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション 実践基礎論Ⅲ（フィジカルアセスメント）※ 共通基盤看護学実践論Ⅲ（急性期療 養過程を支える看護）※ 実践基礎看護学実習（生活を整える看護） 共通基盤看護学実習Ⅰ（看護過程と 看護診断） 共通基盤看護学実習Ⅱ（健康回復過 程を支える看護） 共通基盤看護学実習Ⅲ（セルフケア を支える看護） 共通基盤看護学実習Ⅳ（急性期療養 過程を支える看護） 災害看護論 ※ 看護実践能力の探究 総合実習							

専	講師	布谷 麻耶 (33)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション  実践基礎論Ⅱ（生きていくしくみを支える看護方法）※  共通基盤看護学実践論Ⅱ（セルフケアを支える看護）※  実践基礎看護学実習（生活を整える看護）  共通基盤看護学実習Ⅲ（セルフケアを支える看護）  共通基盤看護学実習Ⅳ（急性期療養過程を支える看護）  健康支援方法論 ※  看護実践能力の探究  総合実習					平成25年5月より産休。平成26年3月まで育児休暇取得予定。担当の専任教員で分担。（25）  平成25年5月より産休。平成26年3月まで育児休暇取得予定。担当の専任教員（西山ゆかり）のオムニバス回数の増加について7月教員審査申請予定。（25）  平成25年5月より産休。平成26年3月まで育児休暇取得予定。担当の専任教員（岩本淳子）のオムニバス回数の増加について7月教員審査申請予定。（25）  平成25年5月より産休。平成26年3月まで育児休暇取得予定。担当の専任教員で分担。（25）	
専	講師	重本 津多子 (55)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション 母性看護学概論※ 母性看護学実践論Ⅱ（周産期の看護）※ 母性看護学実習 ウィメンズヘルスケア論 ※ 看護管理論 ※ 総合実習						
					専	講師	吉田 いつこ (44)	平成25年4月	人間関係とコミュニケーション 外国語学研修 相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習） 広域発展看護学実習Ⅰ（療養生活と看護の実践） 広域発展看護学実習Ⅱ（在宅療養を支える看護の実践） 災害看護論 国際看護論 看護実践能力の探究 総合実習	平成25年4月 教員新規採用 平成24年9月 AC教員審査済（25）
専	助教	石田 寿子 (42)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション 小児看護学実践論Ⅱ（治療過程にある子どもと看護）※ 小児看護学実習Ⅰ（健康な小児の発育と看護） 小児看護学実習Ⅱ（治療過程にある小児と看護） 総合実習						
専	助教	西池 絵衣子 (33)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション 精神看護学実践論Ⅰ（こころの健康を支える）※ 精神看護学実践論Ⅱ（生活の場における看護）※ 精神看護学実践論Ⅲ（治療過程での看護）※ 精神看護学実習Ⅰ（地域の支援と看護） 精神看護学実習Ⅱ（医療施設における看護） メンタルヘルスケア論 ※ 総合実習						
専	助教	三宅 美智 (37)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション 精神看護学実践論Ⅰ（こころの健康を支える）※ 精神看護学実践論Ⅱ（生活の場における看護）※ 精神看護学実践論Ⅲ（治療過程での看護）※ 精神看護学実習Ⅰ（地域の支援と看護） 精神看護学実習Ⅱ（医療施設における看護） メンタルヘルスケア論 ※ 総合実習						
専	助教	近藤 恵 (35)	平成24年4月	外国語学研修 人間関係とコミュニケーション 相互扶助論Ⅰ（共同的活動演習） 相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習） 総合臨床演習 がん看護論 ※ 緩和ケア論 ※						

									共通基盤看護学実習Ⅰ (看護過程と看護診断) 実践基礎論Ⅱ (生きていくしくみを支える看護方法) ※ 実践基礎看護学実習 (生活を整える看護) 共通基盤看護学実践論Ⅱ (セルフケアを支える看護) 共通基盤看護学実習Ⅱ (健康回復過程を支える看護) 共通基盤看護学実習Ⅲ (セルフケアを支える看護) 共通基盤看護学実習Ⅳ (急性期療養過程を支える看護) がん看護論 ※ 緩和ケア論 ※ 看護実践能力の探究 総合実習	平成25年4月 助教からの昇任のため教員追加 平成25年1月 AC教員審査済 (25)
兼任	教授 (学)	吉田 修 (74)	平成24年4月	発生・分化・再生※ 医療の歴史と現在						
兼任	教授 (学科長)	松尾 収二 (57)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 相互扶助論Ⅰ (共同的活動演習) 相互扶助論Ⅱ (援助・支援関係形成演習) 総合臨床演習 体のしくみと疾病の成り立ちⅣ (腎尿路・内分泌) ※ 体のしくみと疾病の成り立ちⅤ (免疫・感染) ※ 体のしくみと疾病の成り立ちⅥ (生育・血液・代謝) ※ 感染とその防御※ 衛生管理学※						
兼任	教授	池本 正生 (60)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 生化学※ 生化学実験						
兼任	教授	山西 八郎 (53)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習 情報科学演習Ⅰ (基礎) 情報科学演習Ⅱ (応用) 保健統計学※						
兼任	教授	米田 孝司 (54)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習						
兼任	教授	櫻井 進 (55)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 保健統計学※ 衛生管理学※						
兼任	教授	山中 忠太郎 (57)	平成26年4月	発生・分化・再生※ 外国語学研修※ 人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習 医療概論※ 体のしくみと疾病の成り立ちⅣ (腎尿路・内分泌) ※ 老年看護学概論※ 小児看護学実践論Ⅲ (子どもの特徴的疾患と看護) ※						
兼任	教授	山中 忠太郎 (55)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ちⅣ (腎尿路・内分泌) ※ 老年看護学概論※						
兼任	准教授	戸田 好信 (56)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習						
兼任	准教授	小松 方 (41)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習 感染とその防御※						
兼任	准教授	藤巻 慎一 (46)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習						
兼任	講師	近藤 明 (53)	平成25年4月	生化学※ 生化学実験						
兼任	講師	近藤 明 (52)	平成24年10月	生化学※ 生化学実験						

兼任	講師	淀井 淳司 (65)	平成24年4月	生命と科学	兼任	講師	淀井 淳司 (65)	平成24年4月	生命と科学	授業をオムニバス形式に変更し、 7時間(4回)担当(24)
					兼任	講師	前田 道之 (72)	平成24年4月	生命と科学	授業をオムニバス形式に変更し、 2時間(1回)担当(24)
					兼任	講師	増谷 弘 (51)	平成24年4月	生命と科学	授業をオムニバス形式に変更し、 2時間(1回)担当(24)
					兼任	講師	今井 六雄 (84)	平成24年4月	生命と科学	授業をオムニバス形式に変更し、 2時間(1回)担当(24)
					兼任	講師	中村 肇 (53)	平成24年4月	生命と科学	授業をオムニバス形式に変更し、 2時間(1回)担当(24)
兼任	講師	角田 幸雄 (65)	平成24年4月	生物学・遺伝学						
兼任	講師	上田 慶子 (65)	平成24年4月	化学						
兼任	講師	上田 勝彦 (69)	平成24年10月	物理学						
兼任	講師	荒川 善廣 (59)	平成25年4月	宗教と科学※						
兼任	講師	石井 隆憲 (52)	平成25年10月	身体論Ⅰ						
兼任	講師	伊藤 道郎 (61)	平成25年10月	身体論Ⅱ						
兼任	講師	安田 義 (52)	平成25年10月	身体論Ⅱ						
兼任	講師	中谷 敏昭 (49)	平成25年10月	身体論Ⅱ						
兼任	講師	菅野 信夫 (60)	平成25年10月	心理学※						
兼任	講師	高森 淳一 (46)	平成25年4月	心理学※						
兼任	講師	高月 玲子 (58)	平成25年10月	臨床心理学※						
兼任	講師	仲 淳 (38)	平成24年10月	発達とライフサイクル※						
兼任	講師	近藤 雄二 (60)	平成24年4月	環境とくらし						
兼任	講師	大橋 正叔 (69)	平成24年10月	文化とくらし※						平成25年4月 講師の都合により、 兼任講師2名から1名に変更 (25)
兼任	講師	飯島 吉晴 (61)	平成24年10月	文化とくらし※						
兼任	講師	小田 健 (66)	平成27年4月	政治経済とくらし※						
兼任	講師	松本 充豊 (46)	平成27年4月	政治経済とくらし※						
兼任	講師	内田 滋 (67)	平成27年4月	政治経済とくらし※						
兼任	講師	浅川 千尋 (59)	平成25年10月	法律とくらし※						
兼任	講師	入江 慶子 (35)	平成25年10月	家族社会学						
兼任	講師	苅宿 俊文 (55)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅰ(複合身体表現A) 生命と芸術実践演習Ⅱ(複合身体表現B) 生命と芸術実践演習Ⅲ(演劇表現A) 生命と芸術実践演習Ⅳ(演劇表現B) 生命と芸術実践演習Ⅴ(身体表現A) 生命と芸術実践演習Ⅵ(身体表現B) 生命と芸術実践演習Ⅶ(複合コミュニケーション表現A) 生命と芸術実践演習Ⅷ(複合コミュニケーション表現B)						
兼任	講師	新井 英夫 (45)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅰ(複合身体表現A)						
兼任	講師	蓮行 (38)	平成24年10月	生命と芸術実践演習Ⅱ(複合身体表現B)	兼任	講師	黒木 陽子 (35)	平成25年10月	生命と芸術実践演習Ⅱ(複合身体表現B)	平成25年4月 講師都合により担当科目を変更。(25)
兼任	講師	黒木 陽子 (34)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅲ(演劇表現A)	兼任	講師	蓮行 (39)	平成25年4月	生命と芸術実践演習Ⅲ(演劇表現A)	平成25年4月 講師都合により担当科目を変更。(25)
兼任	講師	砂連尾 理 (47)	平成24年10月	生命と芸術実践演習Ⅳ(演劇表現B)	兼任	講師	吾郷 賢 (35)	平成24年10月	生命と芸術実践演習Ⅳ(演劇表現B)	平成24年4月 講師名と担当科目の誤記のため担当科目名および就任予定時期を訂正(24)
兼任	講師	吾郷 賢 (35)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅴ(身体表現A)	兼任	講師	砂連尾 理 (47)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅴ(身体表現A)	平成24年4月 講師名と担当科目の誤記のため担当科目名および就任予定時期を訂正(24)
兼任	講師	坂本 公成 (44)	平成24年10月	生命と芸術実践演習Ⅵ(身体表現B)						
兼任	講師	中尾根 美沙子 (29)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅶ(複合コミュニケーション表現A) 生命と芸術実践演習Ⅷ(複合コミュニケーション表現B)	兼任	講師	菊地奈緒美 (27)	平成25年10月	生命と芸術実践演習Ⅷ(複合コミュニケーション表現B)	平成25年4月 講師都合により、 新規兼任講師(25)
兼任	講師	大木 友梨子 (34)	平成24年10月	生命と芸術実践演習Ⅷ(複合コミュニケーション表現B)						
兼任	講師	辻 信一郎 (38)	平成24年4月	英語Ⅰ(Reading, Writing) 英語Ⅱ(英会話)						平成24年度は英語Ⅱ(英会話)を担当(24)

兼任	講師	松井 知春 (44)	平成24年4月	英語 I (Reading, Writing) 英語 II (英会話)					平成24年度は英語 II (英会話) を 担当 (24)	
兼任	講師	安井 幹直 (39)	平成24年4月	英語 I (Reading, Writing) 英語 II (英会話)					平成24年度は英語 I (Reading, Writing) を担当 (24)	
兼任	講師	岡橋 善教 (35)	平成24年4月	英語 I (Reading, Writing) 英語 II (英会話)					平成24年度は英語 I (Reading, Writing) を担当 (24)	
兼任	講師	田林 宏章 (51)	平成24年4月	英語 I (Reading, Writing) 英語 II (英会話)					平成25年度以降に担当予定 (24)	
					兼任	講師	尾上 貴行 (43)	平成25年4月	英語 I (Reading, Writing)	平成25年4月 総人数クラスでの 教育充実のため新規兼任講師の追 加。(25)
兼任	講師	永尾 教昭 (56)	平成25年10月	外国語学研修						
兼任	講師	井筒 夏夫 (46)	平成25年4月	相互扶助論 I (共同的活動演習) 相互扶助論 II (援助・支援関係形成 演習)						
兼任	講師	橋本 武長 (46)	平成25年4月	相互扶助論 I (共同的活動演習) 相互扶助論 II (援助・支援関係形成 演習)						
兼任	講師	南 彩子 (60)	平成26年10月	社会福祉原論※						
兼任	講師	武田 加代子 (69)	平成26年10月	社会福祉原論※						
兼任	講師	渡辺 一城 (48)	平成26年10月	社会福祉原論※						
兼任	講師	庄司 和彦 (57)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ち I (病 態生理・骨格・神経・感覚) ※	兼任	講師	堀 隆介 (36)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成 り立ち I (病態生理・ 骨格・神経・感覚) ※	平成24年4月 自己都合で就任辞 退がとなり兼任講師を変更した。 (24)
兼任	講師	末長 敏彦 (53)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ち I (病 態生理・骨格・神経・感覚) ※						
兼任	講師	西松 秀和 (52)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ち I (病 態生理・骨格・神経・感覚) ※						
兼任	講師	田口 善夫 (58)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ち II (呼 吸・循環) ※						
兼任	講師	中川 義久 (50)	平成24年10月	体のしくみと疾病の成り立ち II (呼 吸・循環) ※						
兼任	講師	鍋島 紀滋 (50)	平成24年10月	体のしくみと疾病の成り立ち III (消 化・栄養) ※						
兼任	講師	金子 嘉志 (51)	平成25年4月	体のしくみと疾病の成り立ち IV (腎 尿路・内分泌) ※						
兼任	講師	八田 和夫 (56)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ち V (免 疫・感染) ※						
兼任	講師	林 道治 (64)	平成25年10月	体のしくみと疾病の成り立ち VI (生 育・血液・代謝) ※						
兼任	講師	中村 文彦 (53)	平成25年10月	体のしくみと疾病の成り立ち VI (生 育・血液・代謝) ※						
兼任	講師	清水 春江 (41)	平成25年10月	栄養学						
兼任	講師	上田 睦明 (44)	平成24年10月	薬理学 I (総論) 薬理学 II (各論)						
兼任	講師	石井 均 (61)	平成25年10月	臨床栄養学						
兼任	講師	山口 健一 (63)	平成25年4月	関係法規 法律とくらし※						
兼任	講師	志野 泰子 (62)	平成25年10月	保健医療福祉行政論 広域発展看護学実践論 II (地域連帯 と社会システム) ※ パブリックヘルスクエア論 ※ 看護管理論 ※	兼任	講師	志野 泰子 (62)	平成25年4月	保健医療福祉行政論 広域発展看護学実践論 II (地域連帯と社会シ ステム) ※ パブリックヘルス ケア論 ※ 看護管理論 ※ 環境とくらし	平成25年4月 兼任講師変更 (25)
兼任	講師	種田 和清 (65)	平成26年10月	衛生管理学※						
兼任	講師	北島 政幸 (39)	平成24年4月	実践基礎論 II (生きていくくみを 支える看護方法) ※						
兼任	講師	安仲 恵 (47)	平成25年10月	共通基盤看護学実践論 II (セルフケ アを支える看護) ※						
兼任	講師	丹生 淳子 (39)	平成25年10月	共通基盤看護学実践論 II (セルフケ アを支える看護) ※						
兼任	講師	喜多 まり (41)	平成25年10月	広域発展看護学実践論 I (地域に生 きる人々と看護) ※						
兼任	講師	石丸 裕康 (44)	平成27年4月	災害看護論 ※						
兼任	講師	池嶋 三賀 (42)	平成27年4月	がん看護論 ※						
兼任	講師	松村 尚子 (48)	平成27年4月	がん看護論 ※						
兼任	講師	正田 世津子 (46)	平成27年10月	クリティカルケア論 ※						
兼任	講師	松尾 理代 (50)	平成27年10月	緩和ケア論 ※						
兼任	講師	植本 洋美 (60)	平成27年4月	看護管理論※						
兼任	講師	野崎 泰伸 (43)	平成27年10月	障がい論						
兼任	講師	藤村 龍子 (75)	平成27年4月	国際看護論						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
11	3	6	4	24	11	3	7	5	25	65	2
( 8 )	( 3 )	( 6 )	( 4 )	( 21 )	[ Δ1 ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	大見 サキエ	家庭事情の変化に伴う居住地域の近隣である他教育機関への職場移動
2	准教授	室津 史子	体調不良に伴う居住地域の近隣である他教育機関への職場移動

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 専任教員交代に係る「大学の所見」  
看護学科主要専門科目を担当する教員の退職であり、平成担当科目の教育を担える人材を平成25年度内に雇用できるよう募集活動を推進する。平成25年度開講される科目については、退職教員が兼任講師として担当することで教育に支障がないように対処する。

・ 専任教員交代に係る「学生への周知方法」  
大学ポータルサイトを通じて、2名の退職と平成25年度内の対応（兼任教員）について、学生に周知する。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<医療学部 臨床検査学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学長)	吉田 修 (74)	平成24年4月	発生・分化・再生※ 医療の歴史と現在						
専	教授 (学部長)	松尾 収二 (57)	平成24年4月	相互扶助論Ⅰ(共同的活動演習) 相互扶助論Ⅱ(援助・支援関係形成演習) フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習 体のしくみと疾病の成り立ちⅣ(腎尿路・内分泌)※ 体のしくみと疾病の成り立ちⅤ(免疫・感染)※ 体のしくみと疾病の成り立ちⅥ(生育・血液・代謝)※ 感染とその防御※ 衛生管理学※ 臨床検査学序説※ 臨床病理学総論※ 臨床病理学演習(実例解説)※ 検査管理学総論※ 検査管理学演習※ 検査管理学特論※						
専	教授	池本 正生 (60)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 生化学※ 生化学実験 臨床検査基礎実習Ⅰ(器具・試薬・鏡検) 臨床検査基礎実習Ⅱ(秤量・泳動・鏡検) 臨床化学検査学総論※ 臨床化学検査学各論※ 臨床化学検査学実習 生体構造代謝学※ 卒業研究 臨床研究論セミナー						
専	教授	山西 八郎 (53)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 情報科学演習Ⅰ(基礎) 情報科学演習Ⅱ(応用) 保健統計学※ 総合臨床演習 尿一般検査学 尿一般検査学実習 臨地実習 卒業研究 臨床検査体験実習						
専	教授	米田 孝司 (54)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 臨床検査学序説※ 臨床病理学演習(実例解説)※ 免疫検査学※ 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 病因・生体防御検査学特論※ 検査精度保証学※ 臨地実習 卒業研究 臨床検査体験実習						

専	教授	櫻井 進 (55)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 保健統計学※ 衛生管理学※ 環境検査学実習 生体機能検査学総論※ 生体機能検査学各論Ⅰ（呼吸）※ 生体機能検査学各論Ⅱ（循環）※ 生体機能検査学各論Ⅲ（神経）※ 生体機能検査学各論Ⅳ（画像）※ 生体機能検査学実習 臨地実習 卒業研究 臨床検査体験実習					
専	教授	山中 忠太郎 (57)	平成26年4月	発生・分化・再生※ 外国語学研修 人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 体のしくみと疾病の成り立ちⅣ （腎尿路・内分泌）※ 医療概論※ 総合臨床演習 臨床病理学総論※					
兼任	教授	山中 忠太郎 (55)	平成24年4月	発生・分化・再生※ 外国語学研修 人間関係とコミュニケーション 医療実践基礎実習 体のしくみと疾病の成り立ちⅣ（腎 尿路・内分泌）※ 医療概論※					
専	准教授	戸田 好信 (56)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習 臨床検査基礎実習Ⅰ（器具・試薬・鏡検） 病理学Ⅰ（総論）※ 病理学Ⅱ（各論）※ 病理組織検査学※ 病理組織検査学実習Ⅰ（標本作成） 病理組織検査学実習Ⅱ（鏡検） 細胞診学※ 形態検査学特論※ 臨地実習 卒業研究 臨床検査体験実習					
専	准教授	小松 方 (41)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 感染とその防御※ 総合臨床演習 微生物検査学総論 微生物検査学各論 微生物検査学実習 医動物検査学※ 病因・生体防御検査学特論※ 臨地実習 卒業研究 臨床研究論セミナー 臨床検査体験実習					
専	准教授	藤巻 慎一 (46)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習 臨床検査基礎実習Ⅱ（秤量・泳動・鏡検） 臨床病理学演習（実例解説）※ 血液検査学※ 血液検査学実習 形態検査学特論※ 分子生物学※ 分子生物学実習 臨地実習 卒業研究 臨床検査体験実習					
専	講師	堀江 修 (48)	平成24年4月	医動物検査学※ 生体機能検査学総論※ 生体機能検査学各論Ⅰ（呼吸）※ 生体機能検査学実習 生体機能検査学特論※ 環境検査学実習 臨地実習 卒業研究 臨床研究論セミナー 臨床検査体験実習					

専	講師	近藤 明 (53)	平成25年4月	生化学※ 生化学実験 臨床検査基礎実習Ⅱ(秤量・泳動・鏡検) 臨床化学検査学総論※ 臨床化学検査学各論※ 臨床化学検査学実習 生体構造代謝学※ 生物化学分析検査学特論※ 臨地実習 卒業研究 臨床検査体験実習						
兼任	講師	近藤 明 (52)	平成24年4月	生化学※ 生化学実験 臨床検査基礎実習Ⅱ(秤量・泳動・鏡検) 臨床化学検査学総論※ 生体構造代謝学※						
専	助教	内堀 恵美 (41)	平成24年4月	免疫検査学※ 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 臨地実習 卒業研究 臨床検査体験実習						
専	助教	竹田 真由 (29)	平成24年4月	臨床検査基礎実習Ⅰ(器具・試薬・鏡検) 生化学実験 分子生物学※ 分子生物学実習 生物化学分析検査学特論※						
兼任	教授 (学部長)	稲本 俊 (65)	平成24年4月	発生・分化・再生 ※ 英語Ⅲ 医療英語 相互扶助論Ⅰ(共同的活動演習) 相互扶助論Ⅱ(援助・支援関係形成演習) フレッシュマン・セミナー 医療における科学的思考 医療実践基礎実習 体のしくみと疾病の成り立ちⅠ(病態整理・骨格・神経・感覚)※ 体のしくみと疾病の成り立ちⅤ(免疫・感染)※ 医療概論 ※ 医療安全学Ⅰ(概論) 医療安全学Ⅱ(実践論) 総合臨床演習						
兼任	教授 (学部長)	屋宜 譜美子 (59)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習						
兼任	教授	有田 清子 (50)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習						
兼任	教授	岩本 淳子 (55)	平成25年4月	フレッシュマン・セミナー						
兼任	教授	奥村 和夫 (62)	平成24年4月	外国語学研修 フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 総合臨床演習						
兼任	教授	大見 サキエ (59)	平成24年4月	心理学 ※ 臨床心理学 ※ 発達とライフサイクル※ 人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習	兼任	講師	大見 サキエ (60)	平成25年4月	心理学 ※ 臨床心理学 ※	平成25年3月退職、兼任講師として担当。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)
							後任未定			平成25年3月退職 科目担当の専任教員で分担 平成25年3月退職、平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)
兼任	教授	中木 高夫 (64)	平成24年4月	英語Ⅲ 医療英語 人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習 体のしくみと疾病の成り立ちⅡ(呼吸・循環) ※ 体のしくみと疾病の成り立ちⅢ(消化・栄養) ※ 総合臨床演習						
兼任	教授	末安 民生 (58)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習						
兼任	教授	灘 久代 (58)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習						
兼任	教授	茂野 香おる (53)	平成25年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習						
兼任	講師	赤澤 千春 (52)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習	兼任	講師	林 みよ子 (49)	平成25年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習	平成24年3月赤澤千春教授就任辞退のため、平成24年4月より教員新規採用 平成25年1月 AC教員審査済(25)
兼任	准教授	尾ノ井 美由 紀	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習						
兼任	准教授	室津 史子 (52)	平成24年4月	フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習						平成25年3月退職。科目担当の専任教員で分担。平成26年4月までに当該科目を担当できる適格者を募集する。(25)

兼任	准教授	西山 ゆかり (48)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション フレッシュマン・セミナー 医療実践基礎実習						
兼任	講師	川口 ちづる (42)	平成24年4月	相互扶助論Ⅰ（共同的活動演習） 相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習）						
兼任	講師	寺口 佐與子 (44)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション						
兼任	講師	有田 秀子 (45)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション						
兼任	講師	永田 明 (39)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション						
兼任	講師	布谷 麻耶 (33)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション						
兼任	講師	重本 津多子 (55)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション						
					兼任	講師	吉田 いつこ (44)	平成25年4月	人間関係とコミュニケーション 外国語学研修 相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習）	平成25年4月 教員新規採用 平成24年9月 AC教員審査済（25）
兼任	助教	石田 寿子 (42)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション						
兼任	助教	西池 絵衣子 (33)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション						
兼任	助教	三宅 美智 (37)	平成24年4月	人間関係とコミュニケーション						
兼任	助教	近藤 恵 (35)	平成24年4月	外国語学研修 人間関係とコミュニケーション 相互扶助論Ⅰ（共同的活動演習） 相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習） 総合臨床演習						
兼任	講師	淀井 淳司 (65)	平成24年4月	生命と科学	兼任	講師	淀井 淳司 (65)	平成24年4月	生命と科学	授業をオムニバス形式に変更し、 7時間（4回）担当（24）
					兼任	講師	前田 道之 (72)	平成24年4月	生命と科学	授業をオムニバス形式に変更し、 2時間（1回）担当（24）
					兼任	講師	増谷 弘 (51)	平成24年4月	生命と科学	授業をオムニバス形式に変更し、 2時間（1回）担当（24）
					兼任	講師	今井 六雄 (84)	平成24年4月	生命と科学	授業をオムニバス形式に変更し、 2時間（1回）担当（24）
					兼任	講師	中村 肇 (53)	平成24年4月	生命と科学	授業をオムニバス形式に変更し、 2時間（1回）担当（24）
兼任	講師	角田 幸雄 (65)	平成24年4月	生物学・遺伝学						
兼任	講師	上田 慶子 (65)	平成24年4月	化学						
兼任	講師	上田 勝彦 (69)	平成24年10月	物理学						
兼任	講師	荒川 善廣 (59)	平成25年4月	宗教と科学※						
兼任	講師	石井 隆憲 (52)	平成25年10月	身体論Ⅰ						
兼任	講師	伊藤 道郎 (61)	平成25年10月	身体論Ⅱ						
兼任	講師	安田 義 (52)	平成25年10月	身体論Ⅱ						
兼任	講師	中谷 敏昭 (49)	平成25年10月	身体論Ⅱ						
兼任	講師	菅野 信夫 (60)	平成25年10月	心理学※						
兼任	講師	高森 淳一 (46)	平成25年4月	心理学※						
兼任	講師	高月 玲子 (58)	平成25年10月	臨床心理学※						
兼任	講師	仲 淳 (38)	平成24年10月	発達とライフサイクル※						
兼任	講師	近藤 雄二 (60)	平成24年4月	環境と暮らし						
兼任	講師	大橋 正叔 (69)	平成24年10月	文化と暮らし※					平成25年4月 講師都合により、 兼任講師2名から1名に変更（25）	
兼任	講師	飯島 吉晴 (61)	平成24年10月	文化と暮らし※						
兼任	講師	小田 健 (66)	平成27年4月	政治経済と暮らし※						
兼任	講師	松本 充豊 (46)	平成27年4月	政治経済と暮らし※						
兼任	講師	内田 滋 (67)	平成27年4月	政治経済と暮らし※						
兼任	講師	浅川 千尋 (59)	平成25年10月	法律と暮らし※						
兼任	講師	入江 慶子 (35)	平成25年10月	家族社会学						

兼任	講師	苅宿 俊文 (55)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅰ（複合身体表現A） 生命と芸術実践演習Ⅱ（複合身体表現B） 生命と芸術実践演習Ⅲ（演劇表現A） 生命と芸術実践演習Ⅳ（演劇表現B） 生命と芸術実践演習Ⅴ（身体表現A） 生命と芸術実践演習Ⅵ（身体表現B） 生命と芸術実践演習Ⅶ（複合コミュニケーション表現A） 生命と芸術実践演習Ⅷ（複合コミュニケーション表現B）						
兼任	講師	新井 英夫 (45)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅰ（複合身体表現A）						
兼任	講師	蓮行 (38)	平成24年10月	生命と芸術実践演習Ⅱ（複合身体表現B）	兼任	講師	黒木 陽子 (35)	平成25年10月	生命と芸術実践演習Ⅱ（複合身体表現B）	平成25年4月 講師都合により担当科目を変更。（25）
兼任	講師	黒木 陽子 (34)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅲ（演劇表現A）	兼任	講師	蓮行 (39)	平成25年4月	生命と芸術実践演習Ⅲ（演劇表現A）	平成25年4月 講師都合により担当科目を変更。（25）
兼任	講師	砂連尾 理 (47)	平成24年10月	生命と芸術実践演習Ⅳ（演劇表現B）	兼任	講師	吾郷 賢 (35)	平成24年10月	生命と芸術実践演習Ⅳ（演劇表現B）	平成24年4月 講師名と担当科目の誤記のため担当科目名および就任予定時期を訂正（24）
兼任	講師	吾郷 賢 (35)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅴ（身体表現A）	兼任	講師	砂連尾 理 (47)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅴ（身体表現A）	平成24年4月 講師名と担当科目の誤記のため担当科目名および就任予定時期を訂正（24）
兼任	講師	坂本 公成 (44)	平成24年10月	生命と芸術実践演習Ⅵ（身体表現B）						
兼任	講師	中尾根 美沙子 (29)	平成24年4月	生命と芸術実践演習Ⅶ（複合コミュニケーション表現A） 生命と芸術実践演習Ⅷ（複合コミュニケーション表現B）	兼任	講師	菊地奈緒美 (27)	平成25年10月	生命と芸術実践演習Ⅶ（複合コミュニケーション表現B）	平成25年4月 講師都合により、新規兼任講師（25）
兼任	講師	大木 友梨子 (34)	平成24年10月	生命と芸術実践演習Ⅷ（複合コミュニケーション表現B）						
兼任	講師	辻 信一郎 (38)	平成24年4月	英語Ⅰ（Reading, Writing） 英語Ⅱ（英会話）						平成24年度は英語Ⅱ（英会話）を担当（24）
兼任	講師	松井 知春 (44)	平成24年4月	英語Ⅰ（Reading, Writing） 英語Ⅱ（英会話）						平成24年度は英語Ⅱ（英会話）を担当（24）
兼任	講師	安井 幹直 (39)	平成24年4月	英語Ⅰ（Reading, Writing） 英語Ⅱ（英会話）						平成24年度は英語Ⅰ（Reading, Writing）を担当（24）
兼任	講師	岡橋 善教 (35)	平成24年4月	英語Ⅰ（Reading, Writing） 英語Ⅱ（英会話）						平成24年度は英語Ⅰ（Reading, Writing）を担当（24）
兼任	講師	田林 宏章 (51)	平成24年4月	英語Ⅰ（Reading, Writing） 英語Ⅱ（英会話）						平成25年度以降に担当予定（24）
					兼任	講師	尾上 貴行 (43)	平成25年4月	英語Ⅰ（Reading, Writing）	平成25年4月 総人数クラスでの教育充実のため新規兼任講師の追加。（25）
兼任	講師	永尾 教昭 (56)	平成25年10月	外国語学研修						
兼任	講師	井筒 夏夫 (46)	平成25年4月	相互扶助論Ⅰ（共同的活動演習） 相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習）						
兼任	講師	橋本 武長 (46)	平成25年4月	相互扶助論Ⅰ（共同的活動演習） 相互扶助論Ⅱ（援助・支援関係形成演習）						
兼任	講師	南 彩子 (60)	平成26年10月	社会福祉原論※						
兼任	講師	武田 加代子 (69)	平成26年10月	社会福祉原論※						
兼任	講師	渡辺 一城 (48)	平成26年10月	社会福祉原論※						
兼任	講師	庄司 和彦 (57)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ちⅠ（病態生理・骨格・神経・感覚）※	兼任	講師	堀 隆介 (36)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ちⅠ（病態生理・骨格・神経・感覚）※	平成24年4月 自己都合で就任辞退がとなり兼任講師を変更した。（24）
兼任	講師	末長 敏彦 (53)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ちⅠ（病態生理・骨格・神経・感覚）※						
兼任	講師	西松 秀和 (52)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ちⅠ（病態生理・骨格・神経・感覚）※						
兼任	講師	田口 善夫 (58)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ちⅡ（呼吸・循環）※						
兼任	講師	中川 義久 (50)	平成24年10月	体のしくみと疾病の成り立ちⅡ（呼吸・循環）※						
兼任	講師	鍋島 紀滋 (50)	平成24年10月	体のしくみと疾病の成り立ちⅢ（消化・栄養）※						
兼任	講師	金子 嘉志 (51)	平成25年4月	体のしくみと疾病の成り立ちⅣ（腎尿路・内分泌）※						
兼任	講師	八田 和夫 (56)	平成24年4月	体のしくみと疾病の成り立ちⅤ（免疫・感染）※						
兼任	講師	林 道治 (64)	平成25年10月	体のしくみと疾病の成り立ちⅥ（生育・血液・代謝）※						

兼任	講師	中村 文彦 (53)	平成25年10月	体のしくみと疾病の成り立ちVI (生 育・血液・代謝) ※						
兼任	講師	清水 春江 (41)	平成25年10月	栄養学						
兼任	講師	上田 陸明 (44)	平成24年10月	薬理学 I (総論) 薬理学 II (各論)						
兼任	講師	石井 均 (61)	平成25年10月	臨床栄養学						
兼任	講師	山口 健一 (63)	平成25年4月	関係法規 法律とくらし※ 保健医療福祉行政論						
兼任	講師	志野 泰子 (62)	平成25年10月		兼任	講師	志野 泰子 (63)	平成25年4月	保健医療福祉行政論 環境とくらし	平成25年4月 自己都合で就任辞 退となり兼任講師を変更した。 (25)
兼任	講師	種田 和清 (65)	平成26年10月	衛生管理学※						
兼任	講師	野崎 泰伸 (43)	平成27年10月	障がい論						
兼任	講師	御前 隆	平成26年4月	放射線同位元素検査学						
兼任	講師	野間 恵之 (59)	平成25年4月	生体機能検査学各論IV (画像) ※						
兼任	講師	本庄 原 (43)	平成25年10月	病理学 I (総論) ※ 病理学 II (各論) ※						
兼任	講師	堀田 正和 (38)	平成27年4月	医用基礎工学 医用生体工学※ 医用工学実習						
兼任	講師	藤田 拓司 (50)	平成24年4月	医動物検査学※						
兼任	講師	萱島 道徳 (57)	平成27年4月	医用生体工学※						
兼任	講師	瀧本 順三郎 (60)	平成26年10月	環境検査学実習						
兼任	講師	後藤 きよみ (49)	平成25年4月	生体機能検査学各論IV (画像) ※ 生体機能検査学実習 生体機能検査学特論※						
兼任	講師	山本 慶和 (61)	平成24年10月	臨床化学検査学総論※ 検査管理学総論※ 検査管理学演習※ 検査精度保証学※ 検査情報システム学※ 検査機器学 検査管理学特論※						
兼任	講師	畑中 徳子 (53)	平成27年4月	検査管理学総論※ 検査管理学演習※ 検査管理学特論※						
兼任	講師	大峠 和彦 (59)	平成25年4月	血液検査学実習						
兼任	講師	高橋 秀一 (57)	平成25年4月	生体機能検査学各論 II (循環) ※						
兼任	講師	吉田 秀人 (54)	平成27年10月	医用生体工学※ 医用工学実習						
兼任	講師	安田 正利 (59)	平成26年10月	病理組織検査学※						
兼任	講師	原田 譲 (55)	平成24年10月	生体機能検査学総論※ 生体機能検査学各論 III (神経) ※ 生体機能検査学特論※						
兼任	講師	坂本 真一 (45)	平成25年10月	病理組織検査学実習 I (標本作成)						
兼任	講師	今井 教嗣 (58)	平成26年4月	病理組織検査学実習 II (鏡検)						
兼任	講師	鴻池 資啓 (58)	平成26年10月	細胞診学※						
兼任	講師	下村 大樹 (39)	平成24年4月	血液検査学※						
兼任	講師	小林 昌弘 (40)	平成25年10月	生体機能検査学実習						
兼任	講師	長谷川 正行 (54)	平成26年10月	検査情報システム学※						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を行うことは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
7	3	2	2	14	7	3	2	2	14	65	1
(6)	(3)	(1)	(2)	(12)	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成 25 年 5 月 1 日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1 名減の場合：△1）
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成 25 年 5 月 1 日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認可時 (23年10月)</p>	<p>1. 設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>2. 専任教員の補充を必要とされた2科目については、完成年度までに、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>①初年次教育と位置づけている「人間関係とコミュニケーション」、「フレッシュマン・セミナー」、「医療実践基礎実習」を専任教員等が分担して行った。学生の授業評価では「授業に意欲的に取り組んだ」、「教科への興味・関心が高まった」などの項目で比較的高い評価を得た。 (25)</p> <p>②学生全員がインターネットに接続してE-learningが可能となるように、全ての教室および図書館に無線LANを設置した。また、E-learningの内容を充実させ、テストやレポート提出をweb上でできるようにした。 (25)</p> <p>③図書については、和書はほぼ計画どおり購入し整備ができた。また、洋書については洋書はe-braryを契約することで、充実を図った。 (25)</p> <p>④学外との共同研究を推進するために、共同研究助成金制度の発足させ、また、天理よろづ相談所病院と共同研究に関する取り決めを行い、共同研究の促進を図った。 (25)</p> <p>教育研究活動の水準を高めるべく、積極的に設置計画のうち、備品、図書の購入内容を再検討し、質の向上に努めている。 (24)</p> <p>「国際看護学」については平成24年9月に認可を受けた専任教員（講師）を配置した。「障がい論」については専任教員の配置はできていない。 (25)</p> <p>昨年10月の認可から現在に至るまでに当該2科目を担当する専任教員の配置はできていない。 (24)</p>	<p>備品に関しては、学年進行に応じた備品の整備を行い、平成25年度で当初計画の備品整備を完了する予定である。また、施設・設備については、平成25年度に予定されている実習室の改修整備と学生更衣室、談話室の整備・拡充などを行い、当初計画の改修・整備を完了する予定である。 (25)</p> <p>図書及び備品に関しては、初年度の教育研究活動に支障はないが、申請時の価額、品数を充当できていないため、申請内容を平成25年度中に履行できるよう整備する。 (24)</p> <p>「障がい論」については、適任者の選定を進めると同時に、専任教員の中での適格者の養成も検討している。 (25)</p> <p>専任教員の補充が必要とされた2科目のうち、国際看護学については本年7月の教員審査に向け準備を進めている。残る障がい論については、適任者の選定を進めると同時に、専任教員の中での適格者の養成も検討している。 (24)</p>
<p>設置計画履行状況 調査時 (24年5月)</p>	<p>該当なし</p>	<p>該当なし</p>	<p>該当なし</p>

設置計画履行状況 調査時 (□□年□□月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調査時 (●●年●●月)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <医療学部>

#### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>設置の趣旨等を記載した書類</p> <p>VI 入学者選抜等の概要</p> <p>2 選抜方法及び選抜体制</p> <p>(2) 選抜方法</p> <p>①一般入試</p> <p>一般試験では、学力試験の科目は、看護学科と臨床検査学科のいずれも同じ範囲とし、その中の科目指定や選択科目の選択方法を下記の表に示すように、それぞれの学科の育成する人材の基礎的な能力を問うのに適したものとした。さらに、その他の選抜方法については、看護学科ではコミュニケーション能力を評価するグループ・ディスカッションを行い、臨床検査学科では、自律した考えや他者への配慮を評価する面接試験を行う。</p> <p>②推薦入試</p> <p>推薦入試においては、原則として受験年度に高校卒業を予定している者とし、高校時代に学習した総合的な能力の評価点が一定基準以上で高等学校長の推薦を受けた者に入学試験の受験資格を与える。推薦書は必須であるが、推薦者及び推薦内容は合否判定に加味しない。学力試験は課さず、試験は、グループ・ディスカッションと論述を一般入試と同様に行う。さらに、本学を受験するにあたっての志望理由や抱負などについての面接試験を行い、総合的に判断する。</p> <p>VII 管理運営</p> <p>1 管理運営のための体制</p> <p>大学管理のための体制として教授会、運営審議会と点検評価審議会を置く。教授会は、教育・研究の管理運営に関する事項について審議を行い、理事会の議を経て、教授会の元にある委員会の活動を通じて管理運営する。運営審議会は、法人並びに大学の経営、安全管理などに関する事項について審議を行い、理事会の議を経て、運営審議会の元にある委員会の活動を通じて管理運営する。点検評価審議会は、教員の評価、自己点検、研究の倫理、人権などに関する事項について審議を行い、点検評価審議会の元にある委員会の活動を通じて管理運営を行う。</p> <p>2 教授会</p> <p>(1) 構成</p> <p>教授会は専任の教授をもって組織する。教授会が必要と認めるときは、その他の教職員を加えることができるとしている。</p> <p>(3) 委員会</p> <p>教授会で審議する事項を立案、計画し、教授会で決定され、理事会で承認された活動内容を実施するために下記の委員会を置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入試委員会</li> <li>・教務委員会</li> <li>・学生委員会</li> <li>・研究委員会</li> </ul>	<p>より適正に入学者を選抜するために、一般入試の学力試験は大学入試センター試験を利用し、選択科目を看護学科は国語、英語および数学・生物・化学の中の1科目とし、臨床検査学科は国語、数学、生物・化学・物理の中の1科目とした。また、自律した考えや他者への配慮を評価するために、両学科とも小論文試験と面接試験を個別試験として行うこととした。(24)</p> <p>より適切な人材を得るために、教育体制が良好な高等学校を指定した指定校推薦入試と公募推薦入試を併用する。指定校推薦においては、高等学校での成績評価を参考にし、一定以上の学力があることを評価し、面接試験を行う。公募推薦入試では、学力評価に学校による差があるので、数学、化学、生物のうちから科目を選択する学力試験を課し、小論文試験と面接試験の結果と総合して選抜する。(24)</p> <p>運営審議会、教育・研究審議会、点検・評価審議会とそれぞれの所管する委員会の報告、連絡、指示が的確に行えるように、各委員会からの報告事項および各委員会への連絡、指示事項を議題に明示した。また、各教員等への連絡や意見の聴取が行えるように全教職員が出席する医療学部会議および各学科会議を定期的に開催することとした。(25)</p> <p>管理運営—管理運営のための体制の中での教授会の位置づけをより明確にするために名称を教育・研究審議会に変更した。これに伴い学則を修正した。(24)</p> <p>教育・研究審議会(教授会より名称変更)の管理運営上の責任体制を明確にするために、その構成を、学長を委員長とし、選任の教授に加えて、事務局長をその委員に加えた。(24)</p> <p>入試に係わる重要事項を検討し、教育・研究審議会に具申する組織として入試管理会議を設置し、学長を委員長とした。また、大学入試センター試験を実施するための大学入試センター試験実施委員会を設置し、学長を委員長とした。(25)</p> <p>教育・研究審議会(教授会より名称変更)の管理運営上の責任体制を明確にするために、その構成を、学長を委員長とし、専任の教授に加えて、事務局長をその委員に加えた。また、審議事項に図書に関する事項を加え、図書委員会を設置した。これに伴い学則を修正した。(24)</p> <p>委員長を学部長や学科長が務めることなどを定めた委員会等の規則を改正し、教員等が幅広く委員会活動に参加し、かつ教員等の負担を軽減するように、委員会等の組織を改正した。(25)</p>

### 3 運営審議会

#### (2) 審議事項

運営審議会は、法人並びに大学の経営、安全管理などに関する事項について審議する。

- ・大学の経営に関する事項
- ・大学の広報に関する事項
- ・大学の将来計画に関する事項
- ・大学の教員・教育組織の能力開発に関する事項
- ・大学の安全管理に関する事項
- ・運営審議会の下に設置された委員会等の規則等の制定及び改廃に関する事項
- ・運営審議会の下に設置された委員会委員等の選出に関する事項
- ・その他大学の運営に関する重要事項

大学のIT環境の整備・拡充を図ることを運営審議会の活動の一つとしてより明確に位置づけるために、運営審議会の審議事項にIT環境の整備・拡充に関する事項を加えた。これに伴い学則を修正した。(24)

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

教員・教育組織能力開発委員会を設置した。  
委員会のもとに研修会小委員会を設置した。  
委員会のもとに授業公開小委員会を設置した。  
委員会のもとに授業評価小委員会を設置した。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成24年度は委員会を計12回開催した。  
FD研修会小委員会6回、授業評価小委員会7回、授業公開小委員会（メール会議含む）9回開催した。

#### c 委員会の審議事項等

- 1) 平成24年度の研修計画（FD研修会）
- 2) 教員の交流会（名称サロンセブン）
- 3) 学生の授業評価アンケート
- 4) 授業公開
- 5) 公開講演会

### ② 実施状況

#### 1) FD研修会

第1回FD研修会 愛媛大学教育企画室 佐藤浩章 准教授 「授業デザイン入門ワークショップ」  
平成24年9月12日学内で開催、参加教員等42名

廣済堂主催の研修会 「大学教育改革のためのアクティブ・ラーニング実践とその手法」に参加、  
平成24年11月22日開催 参加教員4名

第2回FD研修会 藤沢市教育文化センター主任研究員  
「授業研究と教える人の成長を結ぶ-授業リフレクションの基本的な考え方-」  
平成24年11月17日学内で開催、参加教員等21名

第3回FD研修会 岐阜県立看護大学 教授 長谷川桂子 「岐阜県立看護大学の教養教育の現状」  
平成25年3月6日学内で開催、参加教員等41名

#### 2) 教員の交流会（名称サロンセブン）

本学の教員が講師となり、平成24年9月、11月、12月、平成25年1月、2月、3月に開催した。  
参加者10名～20名。

#### 3) 授業公開

授業公開は教員等の任意の方法で開始し、平成24年度は前期13科目、後期17科目の授業が公開され、教員等がそれぞれの科目で1～8名授業に参加した。

#### 4) 公開講演会

開学記念講演会（第1回天理医療大学公開講演会）

日時・場所：平成24年5月26日 本学講堂

講師：井村裕夫（公益財団法人先端医療振興財団理事長・京都大学名誉教授）

テーマ：医学・医療の未来像を探る

出席者：学生31人、学外者145人

第2回天理医療大学公開講演会

日時・場所：平成25年4月18日 本学講堂

講師：川島みどり（日本赤十字看護大学名誉教授）

テーマ：人とのつながりとケアの可能性～暮らしとコミュニティを支える看護～

出席者：学生149人、学外者103人

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

シラバスの記入方法の統一化を推進している。

授業で用いるスライドや資料および試験問題を公開し、共有できるようにしている。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

各授業科目終了時に学生に対する授業評価アンケートを実施した。

平均回収率

前期科目：総合基礎科目	71.7%	共通専門基礎科目	69.1%	後期科目全体	75.8%
看護専門科目	74.4%	臨床検査専門科目	80.6%		
後期科目：総合基礎科目	50.6%	共通専門基礎科目	50.9%		
看護専門科目	51.8%	臨床検査専門科目	61.9%	後期科目全体	53.8%

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの集計結果とアンケートに対する教員の評価を教員及び学生への公開した。

第3回FD研修会（平成25年3月6日）で研修会参加教員による授業評価に関するワークショップ（参加教員数41名）を行った。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
自己点検評価実施委員会を設置し、設置の趣旨・目的の達成状況を大学基準協会の点検評価の項目に基づいて点検評価をする作業を開始した。自己点検評価は各年度毎に実施していく方針を定め、自己点検評価実施委員会と各委員会との共同で作業を進めている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期  
各年度の自己点検評価の内容をまとめて年報として編集し、次年度中に公開する予定である。また、自己点検・評価報告書としては、完成年度の翌年（平成28年度）に公表の予定である。
- b 公表方法  
各年度毎の自己点検評価の報告書となる年報は、印刷して学生や関係機関に配布するとともに、大学のホームページ上に公開する
- ③ 認証評価を受ける計画  
平成28年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく準備を行っており、平成25年4月23日に開催された大学基準協会主催の大学評価実務説明会に参加した。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (      ○ 有      ・      無      )
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (   2013年7月頃を予定   )

## 天理医療大学教員・教育組織能力開発委員会規則

(設置)

**第1条** 本学に、運営審議会規程第9条の規定により、教員・教育組織能力開発委員会（以下「委員会」という）を置く。

(組織)

**第2条** 委員会は、次の各項目の委員をもって組織する。

- (1) 専任教授4～6名
  - (2) 専任准教授または専任講師および専任助教6～8名
  - (3) 前号に規定する以外の者2名以内
- 2 前項第1項および第2項は、その選任された職位を失ったときは、委員の資格を失うものとする。
- 3 委員は、運営審議会が任命し、任期は2年で、再任を妨げない。また、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

**第3条** 委員会は、次の事項について審議する。

- (1) 教育方法に関する事項
- (2) 教員の能力開発に関する事項
- (3) 教育に関する研究会・講演会等に関する事項
- (4) 委員会の下に設置された小委員会等の内規等の制定及び改廃に関する事項
- (5) 委員会の下に設置された小委員会委員等の選出に関する事項
- (6) その他大学の教員・教育組織能力開発に関する重要事項

(委員長・副委員長)

**第4条** 委員会の委員長および副委員長は運営審議会が指名する。

- 2 委員長に事故あるときは副委員長がこれに代わる。

(招集・議長)

**第5条** 委員会は、委員長が招集し、議長を務める。

(開催)

**第6条** 委員会は、定例および臨時の2種とする。

- 2 定例委員会は、原則として月1回開催する。
- 3 臨時委員会は、委員長が必要と認めるとき、または委員総数の3分の1以上の要求があったときに開催する。

(定足数)

**第7条** 委員会は、委員総数の2分の1以上の出席がなければ議を決することはできない。

(議 決)

**第 8 条** 委員会の議決は、出席者の過半数の同意によらなければならない。

(参考人)

**第 9 条** 議長は、必要と認めるとき構成員以外の者を会議に出席させ、報告、または意見を求めることができる。

(小委員会等)

**第 10 条** 委員会は、必要に応じて小委員会等を設置することができる。

2 委員会等の内規は別に定める。

(議事録)

**第 11 条** 議事録は、委員長が作成し、委員会の承認を得て、委員長が保管する。

(規則の改廃)

**第 12 条** 本規則の改廃は、委員会の議を経た上で、運営審議会の承認を得なければならない。

附 則

この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

この規則は、平成 24 年 9 月 11 日から施行する。